

## 平成27年(2015年) 7 ～ 9 月期平均の結果

### < 1世帯当たりの1か月平均の消費支出 >

総世帯は,	240,794 円		
前年同期比	名目 0.3%の減少	実質 0.6%の減少	
二人以上の世帯は,	281,979 円		
前年同期比	名目 1.0%の増加	実質 0.7%の増加	
単身世帯は,	152,412 円		
前年同期比	名目 3.1%の減少	実質 3.4%の減少	

### < 1世帯当たりの1か月平均の消費支出(除く住居等) >

総世帯は,	206,994 円		
前年同期比	名目 0.1%の減少	実質 0.4%の減少	
二人以上の世帯は,	244,571 円		
前年同期比	名目 1.0%の増加	実質 0.7%の増加	
単身世帯は,	126,352 円		
前年同期比	名目 2.1%の減少	実質 2.4%の減少	

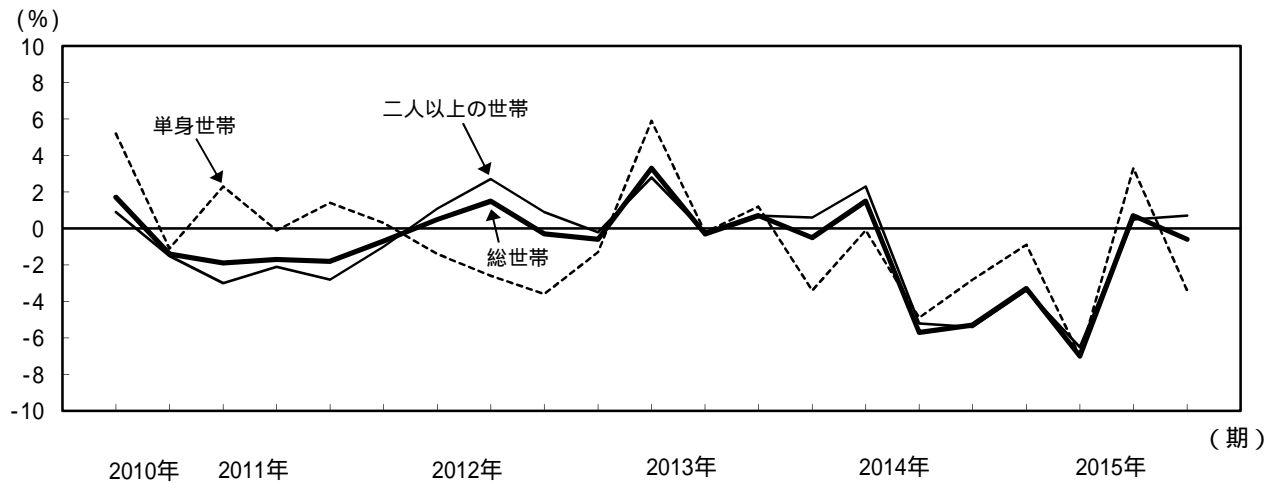
:「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。

### < 勤労者世帯の1世帯当たりの1か月平均の実収入 >

総世帯は,	436,787 円		
前年同期比	名目 1.0%の増加	実質 0.7%の増加	
二人以上の世帯は,	492,664 円		
前年同期比	名目 2.6%の増加	実質 2.3%の増加	

## 消費支出の推移

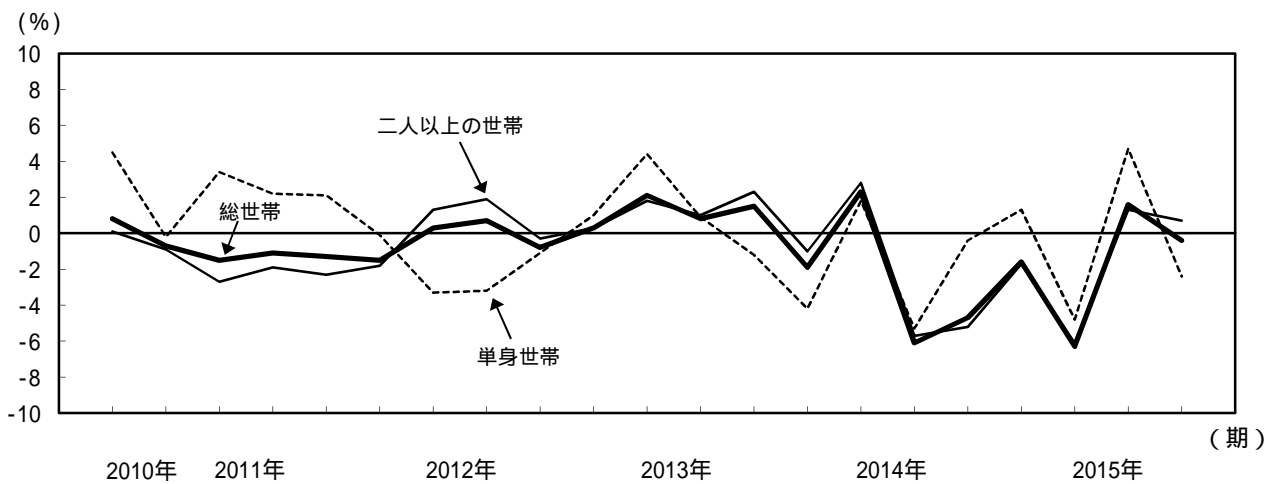
図1 消費支出の対前年同期実質増減率の推移



消費支出	2012年		2013年				2014年				2015年		
	1-3	4-6	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9
総世帯	-0.3	-0.6	3.3	-0.3	0.7	-0.5	1.5	-5.7	-5.3	-3.3	-7.0	0.7	-0.6
二人以上の世帯	0.9	-0.2	2.8	-0.2	0.7	0.6	2.3	-5.2	-5.4	-3.4	-6.5	0.5	0.7
単身世帯	-3.6	-1.3	5.9	-0.2	1.2	-3.4	-0.1	-4.9	-2.8	-0.9	-7.0	3.3	-3.4

注 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

図2 消費支出（除く住居等）の対前年同期実質増減率の推移



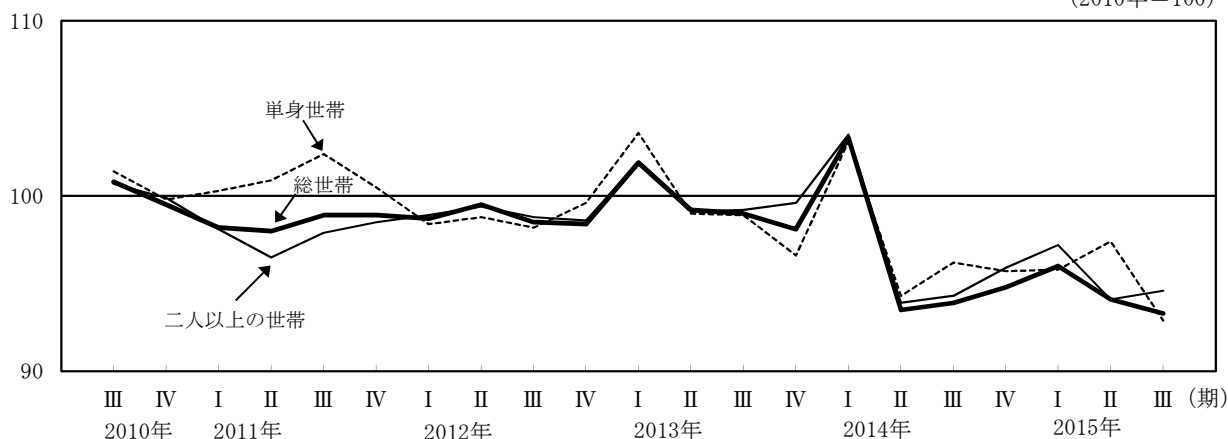
消費支出(除く住居等)	2012年		2013年				2014年				2015年		
	1-3	4-6	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9
総世帯	-0.8	0.3	2.1	0.8	1.5	-1.9	2.3	-6.1	-4.7	-1.6	-6.3	1.6	-0.4
二人以上の世帯	-0.3	0.3	1.8	1.0	2.3	-1.0	2.8	-5.7	-5.2	-1.7	-6.1	1.3	0.7
単身世帯	-1.1	1.0	4.4	0.9	-1.2	-4.2	1.8	-5.3	-0.4	1.3	-4.8	4.7	-2.4

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。

注 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移

(2010年=100)



消費支出	2012年		2013年				2014年				2015年		
	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
総世帯	98.5	98.4	101.9	99.2	99.0	98.1	103.3	93.5	93.9	94.8	96.0	94.1	93.3
対前期変化率(%)	-1.0	-0.1	3.6	-2.6	-0.2	-0.9	5.3	-9.5	0.4	1.0	1.3	-2.0	-0.9
二人以上の世帯	98.8	98.6	101.9	99.1	99.2	99.6	103.5	93.9	94.3	95.9	97.2	94.1	94.6
対前期変化率(%)	-0.6	-0.2	3.3	-2.7	0.1	0.4	3.9	-9.3	0.4	1.7	1.4	-3.2	0.5
単身世帯	98.2	99.6	103.6	99.0	98.9	96.6	103.1	94.3	96.2	95.7	95.8	97.4	92.9
対前期変化率(%)	-0.6	1.4	4.0	-4.4	-0.1	-2.3	6.7	-8.5	2.0	-0.5	0.1	1.7	-4.6

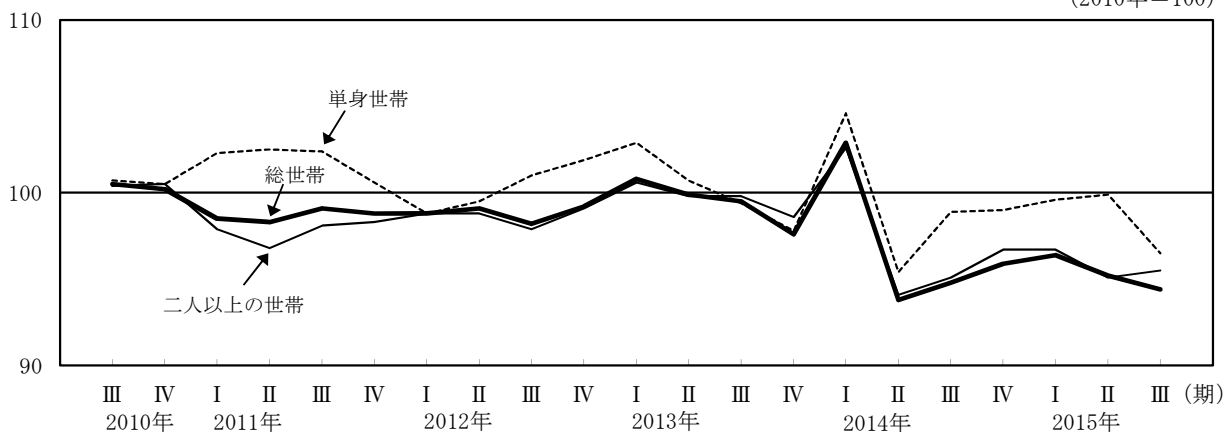
注1 Ⅰは1～3月期、Ⅱは4～6月期、Ⅲは7～9月期、Ⅳは10～12月期を表す。

2 季節調整の方法は、センサス局法（X-12-ARIMA）を用いた。ただし、二人以上の世帯については、月次季節調整系列の3か月平均としている。

3 季節調整値は、1～3月期結果公表時に、過去に遡って改定している。

図4 消費支出（除く住居等<sup>※</sup>）（季節調整済実質指数）の推移

(2010年=100)



消費支出(除く住居等 <sup>※</sup> )	2012年		2013年				2014年				2015年		
	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
総世帯	98.2	99.2	100.8	99.9	99.5	97.6	102.9	93.8	94.8	95.9	96.4	95.2	94.4
対前期変化率(%)	-0.9	1.0	1.6	-0.9	-0.4	-1.9	5.4	-8.8	1.1	1.2	0.5	-1.2	-0.8
二人以上の世帯	97.9	99.1	100.6	99.8	99.8	98.6	102.6	94.1	95.1	96.7	96.7	95.1	95.5
対前期変化率(%)	-0.9	1.2	1.5	-0.8	0.0	-1.2	4.1	-8.3	1.1	1.7	0.0	-1.7	0.4
単身世帯	101.0	101.9	102.9	100.7	99.4	97.8	104.6	95.4	98.9	99.0	99.6	99.9	96.5
対前期変化率(%)	1.5	0.9	1.0	-2.1	-1.3	-1.6	7.0	-8.8	3.7	0.1	0.6	0.3	-3.4

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。

注1 Ⅰは1～3月期、Ⅱは4～6月期、Ⅲは7～9月期、Ⅳは10～12月期を表す。

2 季節調整の方法は、センサス局法（X-12-ARIMA）を用いた。ただし、二人以上の世帯については、月次季節調整系列の3か月平均としている。

3 季節調整値は、1～3月期結果公表時に、過去に遡って改定している。

# 総世帯（「二人以上の世帯」と「単身世帯」を合わせた世帯）

## 1 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（2015年7～9月期 - 総世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減率への寄与度(%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	240,794	-0.3	-0.6	-		2期ぶりの実質減少
食 料	61,917	3.4	0.9	0.21	<増 加> 外食,調理食品など	2期連続の実質増加
住 居	17,422	3.9	3.3	0.23	<増 加> 設備修繕・維持	6期ぶりの実質増加
光 熱 ・ 水 道	16,224	-2.8	3.3	0.23	<増 加> ガス代,電気代など	2期連続の実質増加
家具・家事用品	9,256	4.4	2.8	0.10	<増 加> 家庭用耐久財,寝具類など	2期連続の実質増加
被 服 及 び 履 物	8,589	-0.8	-2.4	-0.08	<減 少> シャツ・セーター類,和服など	2期ぶりの実質減少
保 健 医 療	10,278	-0.6	-1.4	-0.06	<減 少> 保健医療サービス,保健医療用品・器具	2期ぶりの実質減少
交 通 ・ 通 信	33,986	-4.8	-2.3	-0.33	<減 少> 自動車等関係費	2期ぶりの実質減少
教 育	6,970	9.4	7.9	0.21		
教 養 娛 楽	25,286	-2.5	-4.0	-0.43	<減 少> 教養娯楽用品,教養娯楽用耐久財など	6期連続の実質減少
その他の消費支出	50,865	-2.8	(-3.1)	(-0.68)	<減 少> 諸雑費,こづかいなど	9期連続の実質減少
消 費 支 出 ( 除 く 住 居 等 )	206,994	-0.1	-0.4	-		2期ぶりの実質減少

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。

2 「教育」については、詳細な収支項目別の集計を行っていない。

3 「その他の消費支出」の（ ）内は、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いて実質化した。

### 消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

#### 中 分 類

#### 品 目

#### < 減少項目 >

#### 実質寄与度

自動車等関係費	[-0.67]	.....	自動車購入,自動車等関連用品
諸雑費	[-0.60]	.....	葬儀関係費,祭具・墓石
教養娯楽用品	[-0.14]	.....	他の運動用具,音楽・映像収録済メディア
教養娯楽用耐久財	[-0.11]	.....	カメラ,パーソナルコンピュータ
教養娯楽サービス	[-0.10]	.....	外国パック旅行費
保健医療サービス	[-0.09]	.....	医科診療代

#### < 増加項目 >

設備修繕・維持	[0.33]	.....	外壁・塀等工事費,設備器具
交通	[0.19]	.....	鉄道運賃,鉄道通勤定期代
外食	[0.11]	.....	飲酒代,すし(外食)
通信	[0.10]	.....	移動電話通信料

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 「他の運動用具」とは、「ゴルフ用具」以外の運動用具類をいう。

## 2 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（2015年7～9月期 - 総世帯のうち勤労者世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への寄与 度(%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	436,787	1.0	0.7	-	2期連続の実質増加
世 帯 主 収 入	365,296	-0.1	-0.4	-0.36	10期連続の実質減少
定 期 収 入	322,940	-0.2	-0.5	-0.40	2期ぶりの実質減少
臨 時 収 入・賞 与	42,356	0.7	0.4	0.04	2期ぶりの実質増加
配 偶 者 の 収 入	45,875	13.4	13.1	1.22	2期連続の実質増加
他 の 世 帯 員 収 入	4,988	-12.4	-12.7	-0.17	3期ぶりの実質減少
非 消 費 支 出	81,530	2.4	-	-	4期連続の増加
可 処 分 所 得	355,257	0.6	0.3	-	2期連続の実質増加
消 費 支 出	267,646	-1.4	-1.7	-	2期ぶりの実質減少
平均消費性向(%)	75.3	(前年同期) 76.9	(ポイント差) -1.6		

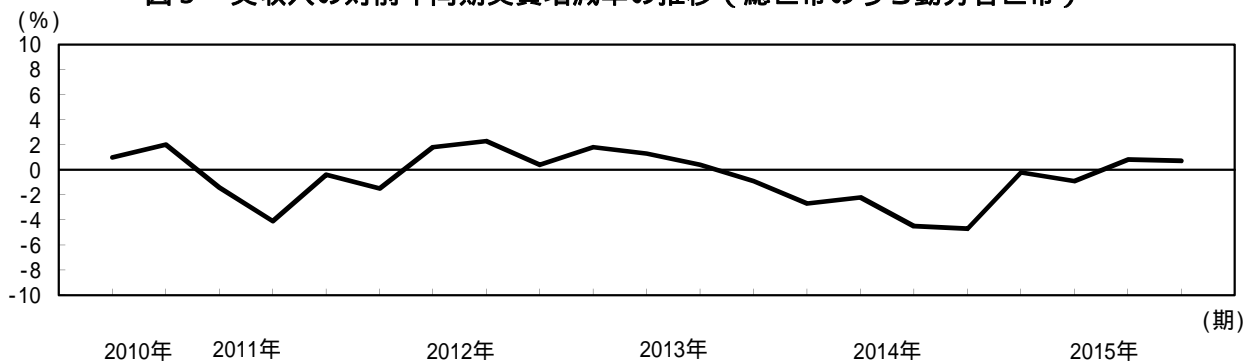
注1 「非消費支出」とは、税金や社会保険料など、世帯の自由にならない支出である。

「可処分所得」とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のことである。

「平均消費性向」とは、可処分所得に対する消費支出の割合である。

2 実収入には、勤め先収入(世帯主収入、配偶者の収入及び他の世帯員収入)のほか、事業・内職収入や社会保障給付などが含まれる。

図5 実収入の対前年同期実質増減率の推移（総世帯のうち勤労者世帯）



	2012年		2013年				2014年				2015年		
実 収 入	0.4	1.8	1.3	0.4	-0.9	-2.7	-2.2	-4.5	-4.7	-0.2	-0.9	0.8	0.7

注 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

## ． 二人以上の世帯

### 1 消費支出とその内訳

表3 消費支出の内訳（2015年7～9月期 - 二人以上の世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率 へ の 寄 与 度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	281,979	1.0	0.7	-		2期連続の実質増加
食 料	72,150	3.5	1.0	0.25	<増 加> 外食,調理食品など	2期連続の実質増加
住 居	17,593	7.2	6.6	0.39	<増 加> 設備修繕・維持	6期ぶりの実質増加
光 熱 ・ 水 道	19,357	-2.5	3.6	0.25	<増 加> ガス代,電気代など	2期連続の実質増加
家具・家事用品	11,212	7.2	5.5	0.21	<増 加> 家庭用耐久財,寝具類など	2期連続の実質増加
被服及び履物	9,939	0.2	-1.4	-0.05	<減 少> シャツ・セーター類,和服など	6期連続の実質減少
保健医療	12,099	-0.4	-1.2	-0.05	<減 少> 保健医療サービス	2期ぶりの実質減少
交通・通信	40,784	-2.6	0.0	0.00	<同水準>	
教 育	10,220	10.9	9.4	0.31	<増 加> 授業料等	3期ぶりの実質増加
教 養 娯 楽	29,578	3.2	1.6	0.17	<増 加> 教養娯楽サービス,教養娯楽用品	6期ぶりの実質増加
その他の消費支出	59,047	-3.2	(-3.5)	(-0.76)	<減 少> 諸雑費,こづかいなど	9期連続の実質減少
消 費 支 出 ( 除 く 住 居 等 )	244,571	1.0	0.7	-		2期連続の実質増加

： 「住居」のほか，「自動車等購入」，「贈与金」，「仕送り金」を除いている。また，実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は，消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の（ ）内は，消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いて実質化した。

#### 消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

##### 中 分 類

##### 品 目

##### < 増加項目 >

##### 実質寄与度

設備修繕・維持	[0.42]	.....	外壁・塀等工事費，畳替え
授業料等	[0.41]	.....	私立大学，国公立大学
教養娯楽サービス	[0.21]	.....	国内パック旅行費，自動車教習料
家庭用耐久財	[0.14]	.....	エアコンディショナ
通信	[0.14]	.....	移動電話通信料
外食	[0.12]	.....	飲酒代，すし（外食）
調理食品	[0.07]	.....	うなぎのかば焼き，サラダ

##### < 減少項目 >

諸雑費	[-0.54]	.....	葬儀関係費，信仰・祭祀費
自動車等関係費	[-0.18]	.....	自動車購入，自動車等関連用品
保健医療サービス	[-0.10]	.....	医科診療代
補習教育	[-0.10]	.....	幼児・小学校補習教育，中学校補習教育

注 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

## 2 勤労者世帯の収支

表4 収支の内訳（2015年7～9月期 - 二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

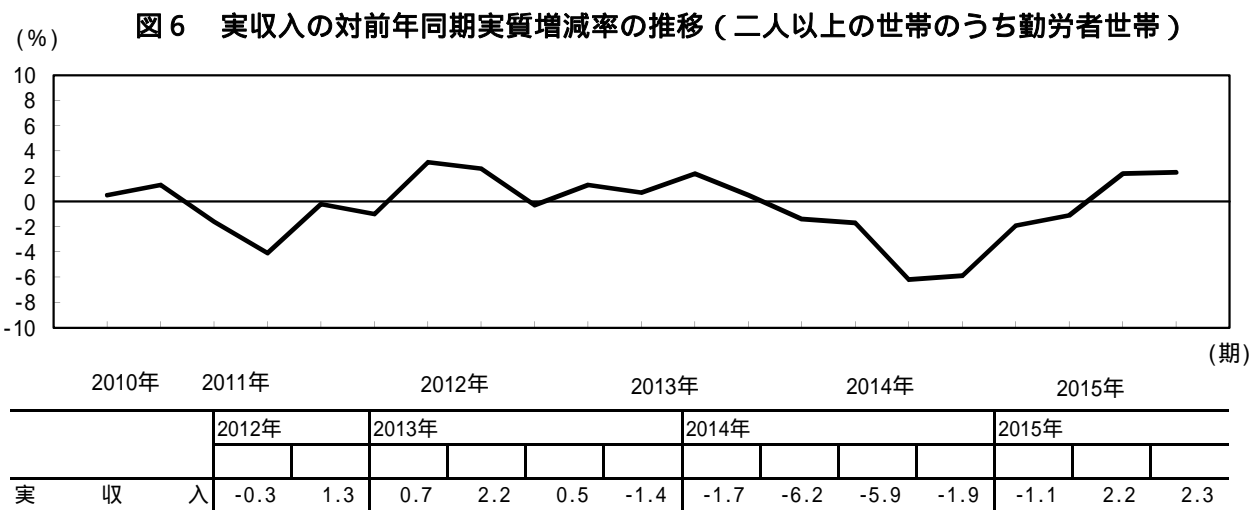
項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	492,664	2.6	2.3	-	2期連続の実質増加
世 帯 主 収 入	396,628	0.8	0.5	0.42	7期ぶりの実質増加
定 期 収 入	344,439	-0.3	-0.6	-0.44	8期連続の実質減少
臨 時 収 入・賞 与	52,189	8.9	8.6	0.85	2期連続の実質増加
配 偶 者 の 収 入	64,631	16.8	16.5	1.90	2期連続の実質増加
他 の 世 帯 員 収 入	7,027	-9.7	-10.0	-0.16	3期ぶりの実質減少
非 消 費 支 出	92,162	3.4	-	-	4期連続の増加
可 処 分 所 得	400,502	2.4	2.1	-	2期連続の実質増加
消 費 支 出	310,239	1.0	0.7	-	2期連続の実質増加
平均消費性向(%)	77.5	(前年同期) (ポイント差) 78.5 -1.0			

注1 「非消費支出」とは、税金や社会保険料など、世帯の自由にならない支出である。

「可処分所得」とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のことである。

「平均消費性向」とは、可処分所得に対する消費支出の割合である。

2 実収入には、勤め先収入(世帯主収入、配偶者の収入及び他の世帯員収入)のほか、事業・内職収入や社会保障給付などが含まれる。



# ． 単身世帯

## 消費支出とその内訳

表5 消費支出の内訳（2015年7～9月期 - 単身世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減率への寄与度(%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	152,412	-3.1	-3.4	-		2期ぶりの実質減少
食 料	39,960	5.1	2.5	0.61	<増 加> 調理食品,乳卵類など	4期連続の実質増加
住 居	17,054	-2.8	-3.4	-0.38	<減 少> 家賃地代	2期ぶりの実質減少
光 熱 ・ 水 道	9,500	-1.1	5.1	0.31	<増 加> ガス代,電気代など	6期ぶりの実質増加
家具・家事用品	5,058	-5.0	-6.5	-0.22	<減 少> 家庭用耐久財,室内装備・装飾品など	6期連続の実質減少
被服及び履物	5,692	-2.6	-4.1	-0.15	<減 少> 洋服,被服関連サービスなど	2期ぶりの実質減少
保健医療	6,372	1.3	0.5	0.02	<増 加> 保健医療サービス,医薬品	5期連続の実質増加
交通・通信	19,394	-11.3	-8.9	-1.24	<減 少> 自動車等関係費	2期ぶりの実質減少
教 育	1	-	-	-		
教 養 娛 楽	16,075	-19.0	-20.3	-2.56	<減 少> 教養娯楽サービス,教養娯楽用品など	4期連続の実質減少
その他の消費支出	33,307	1.0	(0.7)	(0.15)	<増 加> 仕送り金	2期連続の実質増加
消 費 支 出 (除く住居等)	126,352	-2.1	-2.4	-		2期ぶりの実質減少

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。

2 「教育」については、詳細な収支項目別の集計を行っていない。また、消費支出全体に占める割合が小さいことから、増減率については掲載していない。

3 「その他の消費支出」の（ ）内は、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いて実質化した。

### 消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

#### 中 分 類

#### 品 目

#### < 減少項目 >

#### 実質寄与度

自動車等関係費	[-2.36]	.....	自動車購入,自動車等関連用品
教養娯楽サービス	[-1.15]	.....	外国パック旅行費,インターネット接続料
教養娯楽用品	[-0.77]	.....	他の運動用具,スポーツ用品
諸雑費	[-0.71]	.....	冠婚葬祭費,祭具・墓石
教養娯楽用耐久財	[-0.44]	.....	楽器,カメラ
家賃地代	[-0.40]	.....	公営家賃,民営家賃
保健医療用品・器具	[-0.20]	.....	眼鏡
書籍・他の印刷物	[-0.17]	.....	新聞,雑誌(週刊誌を含む)
家庭用耐久財	[-0.16]	.....	エアコンディショナ,電気洗濯機

#### < 増加項目 >

交通	[0.89]	.....	鉄道運賃,鉄道定期代
----	--------	-------	------------

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 「他の運動用具」とは、「ゴルフ用具」以外の運動用具類をいう。



## < 参考 >

図7 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度（2015年7～9月期 - 総世帯）

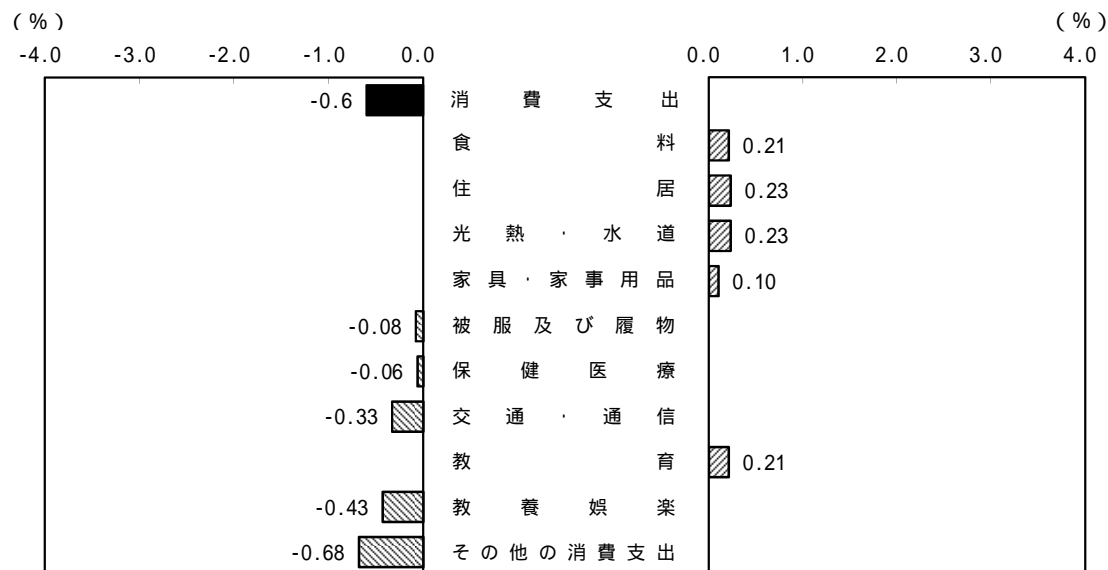


図8 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度（2015年7～9月期 - 二人以上の世帯）

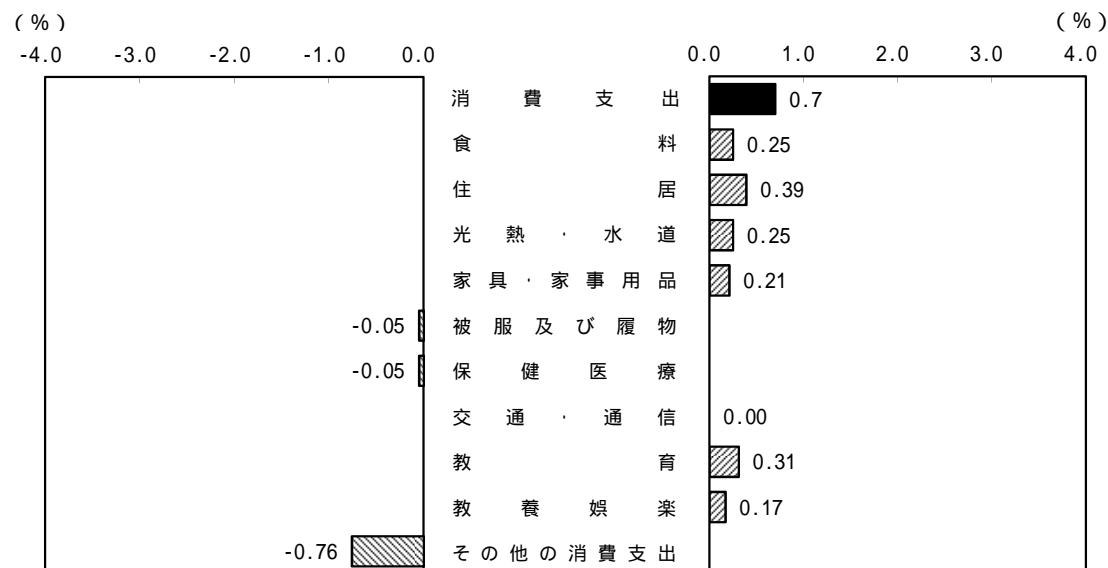
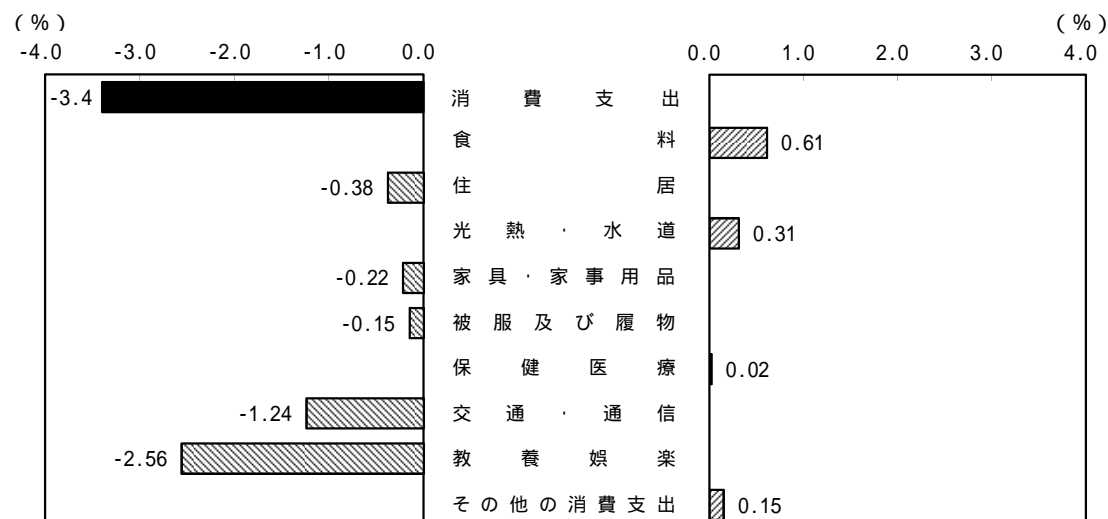


図9 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度（2015年7～9月期 - 単身世帯）



注 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。